

教 育 委 員 会 会 議 録

開催日 令和6年9月26日

南 あ わ じ 市 教 育 委 員 会
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会

南あわじ市及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会 合同定例会会議録

1. 日 時 令和6年9月26日（木） 午前10時00分開会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

3. 会議次第

開 会 午前10時

開議宣告

会議録署名委員の指名 青木委員（南あわじ市） 近藤委員（学校組合）

前回会議録の承認

協議及び報告事項

閉議宣告

閉 会 午前10時58分

4. 会議の出席者

《南あわじ市》

（教 育 長） 新 宅 忠 敏

（教育委員） 近 藤 宰 常、青 木 京、山 本 真 也

《学校組合》

（教 育 長） 新 宅 忠 敏

（教育委員） 狩 野 時 夫、近 藤 宰 常、山 本 真 也、橋 本 直 之

5. 会議の欠席者

《南あわじ市》

（教育委員） 清 水 真 澄

6. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 福 田 龍 八、教育次長補兼学校教育課長 上 原 泉、

教育総務課長 田 村 智 巨、社会教育課長 眞 野 匡 史、

社会教育課付課長兼生涯学習推進室長 阿萬野 真 司、

図書館長兼滝川記念美術館玉青館長 山 家 光 泰、

スポーツ青少年課長 柏 木 映理子、学校給食センター所長 山 形 さゆり、

教育総務課係長 佐々木 友 美、教育総務課主査 興 津 里 香

7. 会議に付した事件及びその結果

《南あわじ市》

議案第25号 旅館業の営業許可に関する教育委員会の意見について
原案可決

議案第26号 寄附物件の受納について
原案可決

1. 開 会

午前10時

【新宅教育長】 定足数に達しておりますので、ただいまから南あわじ市教育委員会及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を開会いたします。

2. 会議録署名委員の指名

【新宅教育長】 まず、「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員につきましては、会議規則第15条第2項の規定により、1名の委員を指名します。

南あわじ市教育委員会会議録署名委員につきましては、青木委員にお願いいたします。

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会会議録署名委員につきましては、近藤委員にお願いいたします。

3. 前回会議録の承認

【新宅教育長】 次に、「前回の会議録の承認」に移ります。

前回会議録につきましては、事前に送付させていただいておりますので、ご確認をお願いしたいと思います。何かお気づきの点はございませんでしたか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 ご意見がないようですので、及び総合教育会議の会議録については原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 異議なしと認めます。

よって、教育委員会定例会及び総合教育会議の会議録は原案のとおり承認することに決定しました。

4. 教育長報告

【新宅教育長】 次に、「教育長報告」をさせていただきます。

最初に「南あわじ市子ども映画祭について」お話をさせていただきます。9月28日に南あわじ市子ども映画祭が市地区公民館で開催されます。今年度は、本選大会が行われず、オープニングにはアフタースクールの児童によるオカリナ演奏で始まる予定です。青木委員には実行委員長としてお世話になります。どうぞよろしくお願いします。今年度は市の大会となりましたが、島内外から26作品の応募がありました。テーマは、「後悔したこと―後悔しないために今できること―」ということで、子どもたちにとっては少し難しいテーマだったかもしれませんが、いろいろと工夫をして制作してくれています。映像の中にも子どもたちの思いが表現されているということで、楽しみにしております。

次に、「市小学生陸上競技大会について」「淡路っ子スポーツ大会について」お話をさせていただきます。来月10月2日に市の小学生陸上競技大会が三原健康広場のグラウンドで開催されます。市内の児童5、6年生が全員参加で臨みますので、お時間をございましたらご観覧いただければと思います。また、10月12日には淡路っ子スポーツ大会が洲本市陸上競技場で開催されます。現在、市内の1校が出場できないということを聞いておりますが、他の学校は出場の手配となっております。

これらの陸上競技大会は、コロナ禍では中止や形を変えて実施してきました。昨年度の市の大会では、5年生は走る種目のみの実施だったことで、子どもたちの選択肢が若干狭められる一方、淡路っ子の大会では全種目行われたため、現場でも戸惑いの声があったと聞いております。今年度は全種目を実施する方向で進めているようです。

陸上競技大会は、子どもたちの体力向上はもちろん、あきらめない心、仲間を思いやる心を深めていくことを大きな目的としています。そして、子どもたちがそれぞれの記録を更新していくという目標を持って、自分の記録を測ってみたり、仲間と一緒に工夫して練習をしてみたりという経過を経て、その先に大会があります。しかし、コロナを経て、その目的や目標が少し曖昧になりつつあるのではないかと感じています。これは現場への批判ではなく、もう一度目的や目標の原点に立ち返って、子どもたちがスポーツを楽しみと思える取組を進める必要があるのではないかという思いがありますので、次の校長会ではそのような話をさせていただこうと思っております。

以上2点につきまして、ご意見等ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 ないようですので「教育長報告」を終わらせていただきます。

5. 議 事

【新宅教育長】 次に「議事」に移ります。

「議事」につきましては南あわじ市議案2件を審議いたします。

○南あわじ市教育委員会議案第25号

「旅館業の営業許可に関する教育委員会の意見について」

【新宅教育長】 南あわじ市教育委員会議案第25号「旅館業の営業許可に関する教育委員会の意見について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

【上原次長補】 ただいま上程いただきました南あわじ市教育委員会議案第25号の提案理由をご説明いたします。

この度、南あわじ市立津井幼稚園及び南あわじ市西淡グラウンドの概ね100メートル区域内にあたる、南あわじ市津井字小丸1810番5、字小長谷2278番2、2278番6、2279番7及び道において簡易宿所営業の許可申請がなされたため、兵庫県淡路県民局（洲本健康福祉事務所）より旅館業法第3条第4項の規定に基づき、清純な施設環境が著しく害されるおそれの有無について教育委員会の意見を求められております。

申請者は、株式会社岡本商店、施設名称は「和（のどか）」で、簡易宿所として2寝室を備えるものです。

以上で、提案理由の説明とさせていただきます。

【新宅教育長】 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。

【山本委員】 具体的に場所はどのあたりになりますか。

【青木委員】 そのあたりの場所をよく知っているのでお答えさせていただきます。西淡グラウンドの信号から坂を上って津井幼稚園を超えてひとつ目の角のところにある建物になります。この建物はずっと空き家になっており、昨年度改修して外国人の方が住んでいましたが、今は退去され、再度の改修がされて貸別荘の様相を呈しています。また、この辻は小学生の通学路になっているところでもあり、交通立ち番の場所にもなっています。

【上原次長補】 津井小学校の児童が良く通る場所であるとのことですので、教育委員会の方でも注視していきたいと思います。

【新宅教育長】 他に質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 これで質疑を終結します。

お諮りします。

本案につきましては討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 異議なしと認めます。

よって、直ちに採決します。

南あわじ市教育委員会議案第25号「旅館業の営業許可に関する教育委員会の意見について」を原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 異議なしと認めます。

よって、南あわじ市教育委員会議案第25号は、原案のとおり決定されました。

○南あわじ市教育委員会議案第26号

「寄附物件の受納について」

【新宅教育長】 南あわじ市教育委員会議案第26号「寄附物件の受納について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

【上原次長補】 ただいま上程いただきました議案第26号の提案理由をご説明いたします。

令和6年7月、阿万小学校に対し同校の創立150周年を記念して、現在、阿万上町 大師山に建立されている「江本力太郎先生育英記念」の石碑について同校敷地内へ寄附により移設したいとの申し出がありました。寄附申出者につきましては江本力太郎氏の子孫、江本明子様で、江本力太郎氏は阿万上町出身で阿万小学校初代校長でございます。なお、価格は1,000,000円であることを聴取しており、受納は12

月 26 日頃を予定しております。

以上、議案第 26 号のご説明とさせていただきます。

【新宅教育長】 提案理由の説明が終わりました。

これより質疑を行います。質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 これで質疑を終結します。

お諮りします。

本案につきましては討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これにご異議
ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 異議なしと認めます。

よって、直ちに採決します。

南あわじ市教育委員会議案第 26 号「寄附物件の受納について」を原案のとおり決
定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【新宅教育長】 異議なしと認めます。

よって、南あわじ市教育委員会議案第 26 号は原案のとおり決定されました。

6. 協議及び報告事項

【新宅教育長】 続いて、協議及び報告事項に移りたいと思います。

協議及び報告事項につきましては、お手元に資料を配布しております。

(1) 南あわじ市議会 9 月定例会一般質問の報告について

【新宅教育長】 「南あわじ市議会 9 月定例会一般質問の報告について」、事務局より説
明をお願いします。

【福田次長】 お手元の資料「協議及び報告事項」の『一般質問内容について（関係分

抜粋)』をご覧ください。

8月30日から9月27日までの会期で開催されております、第127回南あわじ市議会定例会におきまして、9月6日、9日、10日、11日の4日間にわたり、16名の一般質問がありました。そのうち、教育委員会関連の質問は8名で、質問項目としては大きく分類して12項目ありました。それでは、主なものについての答弁内容の概略をご報告いたします。

まず、8月に子ども議会及び議会と中学生との意見交換会が開催され、子どもたちから学校に対するさまざまな意見や要望が出されたことから、小学校の特別教室や図書室、また体育館への空調整備等について、3名の議員から質問がありました。これに対し、小学校では現在、音楽室の空調整備を進めているところであり、それ以外の特別教室や図書室について整備の考えはない。空調のある空き教室への機能移転や授業内容の工夫などにより取り組みをお願いしたいこと。学校体育館について空調整備の考えはない。ただし、近年の猛暑を踏まえ、熱中症予防などの対策としてスポットクーラーの配備ができないかといったことについて検討したいこと。などを答弁いたしました。

次に、部活動の地域移行について、2名の議員から質問がありました。これに対し、部活動の地域移行については、学校や地域クラブと協議を重ね、島内3市とも情報交換をしながら移行時期や方法、協力体制などについての検討をしていくこと。指導者や後継者不足が喫緊の大きな課題であると認識しており、指導者や後継者を増やすきっかけづくりとなる研修会の開催など、さまざまな手段を活用して取り組んでいくこと。などを答弁いたしました。

次に、本市の教育方針についての質問がありました。これに対し、「学ぶ楽しさ日本一」の実現に向けた本市の教育施策として、最優先に取り組まなければならないことは、「授業改革と徹底した校務改革」であり、教育委員会は各校の取り組みをしっかりとバックアップしつつ、子どもを真ん中において、これらの改革に取り組んでいくこと。英語教育については、国際化が進む社会においては、自分の考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るための英語力を身につけること。読解力については、単に文章を読む能力だけではなく、文章を通じて得られる情報を的確に理解し、考え、活用するために必要な読解力の向上に取り組んでいくこと。などを答弁いたしました。

このほか、「通学路の環境整備」や「門崎砲台の保存及び活用方法」、「慶野松原の振興」や「低所得世帯の子どもへの夏休み期間における給食の提供」、「教員の働き方改革」、「学校プールの整備と民間プール活用」、「スポーツクラブ21をはじめとする地域スポーツの振興」、「市立図書館の整備状況」など、幅広い質問がございました。

質問内容と答弁の詳細につきましては、記載のとおりでございますのでご確認をお願いいたします。

以上で、南あわじ市議会9月定例会一般質問のご報告とさせていただきます。

【新宅教育長】 説明が終わりました。

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

【近藤委員】 最近の新聞で、兵庫県の多可町では3つの中学校が統合するにあたり部活動を廃止して地域移行を進めるという記事を読みました。淡路島内では、3市でも協議しながら進めていくということですが、先ほど申し上げたような事例や、他の自治体でも様々な部活動の地域移行の先進的な取組が進められていると思いますので、いろいろ検討いただくとともに、教育委員への情報共有もお願いできたらと思います。

【上原次長補】 本市でも、子どもたちがしたい活動ができるように、選択肢を減らさずに部活動の地盤を地域へ移行していくところですが、生徒数や教員数が減少する中、限界を感じているところもありますので、今後、この点を検討していかなければならないと考えています。

【新宅教育長】 国では、令和8年度から土日の部活動を地域へ移行する方針を出していますが、その方向で進めているいくつかの市町からは、土日のみ地域へ移行することに課題が多すぎるという声が聞こえてきております。本市としてはその様な声を参考にしつつ、進めていかなければならないと考えています。
他に何かございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

(2) 令和6年度全国学力学習状況調査の概要について

【新宅教育長】 「令和6年度全国学力学習状況調査の概要について」、事務局より説明をお願いします。

【上原次長補】 まず、令和6年度の学力調査についてご説明させていただきます。今年度の調査は、小学生の国語と算数、中学生も国語と数学の2教科でした。本市と全国を比べると同程度の状況でしたが、小学校の算数はやや低い状況にありました。全体的に問題数は少ないのですが1問の文章量が多く配点が高くなっております。

小学国語のテストは、問題文が22ページ、8,800字に及ぶ文章を読み問いに答えるもので、50字から100字以内で自分の考えをまとめて回答する、いわゆる記述式でした。

小学算数で最も正答率の低かった問題は、お手元にある「速さ」の問題です。答え

の理由を言葉や数を用いて記述する必要がありました。

中学校の数学の問題をご覧ください。関数についての問題ですが、同様に最後には説明を求めています。

児童の事後アンケートからは、3分の1の児童が、解答する時間が足りなかったと答え、4分の1の児童は途中であきらめて無回答で提出したと答えました。学力調査では、多くの情報を理解する「読解力」やその中から必要な情報だけを取り出す「情報処理能力」を問われています。

次に、児童生徒質問紙についてご説明します。質問紙の質問項目の結果をまとめた資料をお開きください。

ここでは本市として特に注目すべき項目のみ紹介させていただきます。まず「自分には良いところがあると思う」の項目は経年で見ても全国と比べてもよくなりました。また「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という項目については、小学校ではほぼ全国と同等程度になっていますが、中学校では全国に比べて高い傾向にあります。昨年同様、ふるさと創造プログラムのコアカリキュラムや防災教育等の成果であると考えられます。「ICT機器を活用すること」については、「自分のペースで理解しながら、調べ、楽しみながら学習を進めることができる」と約9割の児童生徒が回答していることから、南あわじ市が取り組んできたICTを活用した授業の取組の成果だと考えています。「国語、算数の勉強が好きですか」の問いに4割の児童生徒が「どちらかと言えば当てはまらない」と答えている現状が学力調査の正答率の結果になったと考えられます。

今後、タブレットを有効に活用し、児童生徒が主体的に自分のペースで楽しみながら相互に深い学びができる授業改善をすすめ、「学ぶ楽しさ日本一」という目標の実現に向けて進めていきたいと考えています。

【新宅教育長】 説明が終わりました。

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

【近藤委員】 どうしても、学力が高いか低いかにより目が向けがちになりますが、私は質問紙のそれぞれの項目の結果に注目しています。地域や保護者の方にもぜひ質問の内容に注目していただき、テストの点数以外にも、子どもたちの考え方や学校の様子を知っていただきたいと思います。また、私がいつも確認するのは「学校へ行くのが楽しい」という項目です。経年変化で見ても高いポイントを維持しているところが心強いと思いました。

今年の質問紙では、深い学びを担保するような質問を意識しているのかなと感じました。例えば、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」という項目ですが、このような質問を学力調査の時だけでなく、日頃の授業でも投げかけていただければと思います。「学ぶ楽しさ日本一」を進める上で、この項目のポイントが高くなる取組が大

切だと思えます。また、「道徳の授業で自分の考え方を深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいたと思えますか」という項目も、学び合いの授業の成果が5年前に比べて伸びてきております。また、「先生はあなたの良いところを認めてくれると思えますか」という質問が令和2年度以来、復活しております。この質問は「自分の違う意見について考えるのは楽しい」という項目とリンクするところがあると思っています。先生が子どもたち一人一人の意見や違いをよく見てくれているかというところにつながると思えますので、先生方にも質問項目の結果を分析しながら日々の教育活動に活かしていただければと思います。

最後に、私は理科の教師をしておりましたが、「理科の勉強は好きだ」の項目が低いのが残念だなと思っています。

【狩野委員】 「算数の勉強は好きだ」という質問紙の項目のように、子どもたちの「好き」「きらい」という気持ちや勉強が楽しいという気持ちが学力の結果につながっていくのだと思います。社会に出て求められる力として、コミュニケーション力、情報活用能力などありますが、やっぱり学力も大切です。コロナ禍に教育活動や教員の働き方改革についてたくさんの議論がされてきましたが、学力についての議論も必要なことだと思います。どのようにしたら学力が身に付くのか、そのために必要なことは、ということを経験することで学校での先生方の力の入れ方が変わってくるのだと思っています。しっかり質問紙の結果を分析して改善に役立ててほしいと思います。

また、ICT機器の活用に関するいくつかの質問項目については、特に中学校において全国より5ポイント以上高い結果が出ております。学校へ行くのが楽しいという子どもたちを増やす努力をこれからも続けていただきたいと思います。

【上原次長補】 今年度は、特に授業改善を掲げております。そのひとつの取組として、校長に改善プランシートの提出を求めているところですが、そこでは、いかに授業を改善していくのかを可視化できるようにしており、プランシートを基に、学校でどのように学び方を身につけさせていくのかを考えていきたいと思っています。

【青木委員】 中学校の質問紙の「原稿を準備することなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う」という項目が19ポイントも落ちています。ある学校の授業を見させていただいた時に、英語の授業だったのですが、前で発表する際に、書いてあるものを読んで終わりということがありました。あらかじめ準備したものを美しく読むということを推奨するのではなく、即興で話せる、英語でコミュニケーションがとれる、英語が楽しいという気持ちを持つてほしいですし、これは英語以外にも言えることですが、間違ってもいいから、止まってもいいから、見ないで読んでみる、とそういう方向へ進んでほしいと思いました。また、「新聞を週に1～3回程度読んでいる」というポイントがとても低いことに驚きました。私が中

学生の時、「天声人語」を書き写すという課題がありましたが、今となってはよかったと思っています。書き写すことにより、時事ネタを知り、新しい言葉を知り、「てにをは」や句読点の使い方が自然と身に付くように思います。興味ある本を読むということもいいことですが、ただ書き写すということも大切なことかなと思いました。

【山本委員】 質問紙の中で、「国語の勉強は好きだ」という項目は60%ほどですが、それに比べて「国語の勉強は大切だ」の項目は非常に高い数値になっています。「好き」ではないが「大切」ということが理解できていれば、頑張って勉強する時が来るのかなと思いました。今後どのように変わっていくのかまたいろいろな情報をいただければと思います。

【橋本委員】 この質問紙は、児童生徒への質問ですが、学校に対しても質問紙が配られ回答していると思います。学校の回答と子どもたちの回答のずれが生じているところは要注意だと思いますが、そのあたりはどのように考えておられますか。

【上原次長補】 学校と子どもたちの回答のずれについては、これまでもありました。学校の質問紙はこれから集計を行いますので、双方の結果を分析して、課題を洗い出していかなければならないと考えております。

(1) 当面の行事予定及び教育委員会後援名義使用許可の報告について

【新宅教育長】 次に、「当面の行事予定」、「教育委員会後援名義使用許可状況」については、資料をご覧ください。

7. その他

【新宅教育長】 次に「その他」に移らせていただきます。
何かございませんか。

○教育委員会会議録（令和6年7月24日開催分）の修正について

【田村課長】 去る7月24日に開催された教育委員会定例会の会議録について、本件は前回8月28日の定例会にて内容をご確認いただき、ご承認いただいたところですが、前回、青木委員がご欠席でありまして、青木委員のご発言部分を一部修正させていただいたこともあり、今回あらためて報告させていただくものです。

内容は学校での避難訓練にかかる部分ですが、水害での避難訓練と、火災での避難訓練が混同しているようであったため、青木委員にもご了承いただいたうえで当該発言部分を削除させていただいたものです。ご理解のほど、よろしくお願いし、報告いたします。

○兵庫県市町村教育委員会連合会広報紙「はぐくみ第165号」の紹介

【田村課長】 皆さまのお手元に配布させていただいた「兵庫県市町村教育委員会連合会」発行の「はぐくみ 第165号」についてご紹介いたします。こちらは連合会が、教委総合間の情報交換及び情報提供のため発行しているものです。去る9月10日に発行された第165号において、「地教委めぐり」として県内市町教育長より市町教委の取り組みなどについて紹介するコーナーで、11ページから12ページにかけて南あわじ市教育委員会及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会の新宅教育長の記事が掲載されております。

また、各市町教育委員からの教育に対する提言が掲載されているコーナーで、18ページに青木委員のご提言が掲載されております。

さらに新任教育委長をご紹介する「新任教育長の横顔」コーナーでは、22ページに洲本市の橋本教育長が、23ページに新宅教育長が紹介されております。

ぜひお読みいただきたく、ご紹介させていただくものです。どうぞよろしくお願いいたします。

○12月教育委員会定例会の日程調整について

【田村課長】 12月の教育委員会定例会については、本日は清水委員がご欠席ですので、本日まで出席の委員の皆さまの日程を調整させていただいた結果、12月17日（火）、18日（水）、19日（木）のそれぞれ午前中が候補日となりました、この中で、清水委員の日程を調整させていただき、あらためて12月定例会の開催日についてご連絡させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

9. 閉 会

【新宅教育長】 以上で本日の定例会の日程はすべて終了しました。

これをもちまして、南あわじ市教育委員会、及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を閉会します。

午前10時58分